

第2回湯沢市部活動協議会記録

R 5. 11. 22 (水)

1 開 会

2 協議会会長あいさつ

- ・ 先日は、スポーツ協会主催の研修会が開催され、参加していただいた方々、ご苦労様でした。
- ・ その際の話では、県ではこの地域移行について、まだ明確にされていないところがあるが、本市として協議を進めていきたい。
- ・ 高岡市、長岡市の先進事例が紹介されたが、参考にできるところは参考にしていければと思う。本日の協議もよろしくをお願いします。

【委員からの発言】

- ・ 少子化にともない、生徒が希望する競技ができないことに地域移行の根本がある。湯沢市として、今後、土・日曜日を地域クラブとして学校が関わらないのか、いわゆる学校部活動を廃止するのか、方向性が明確でないとなかなか議論が深まらないと思うがどうか。
- ・ 令和7年までの推進期間とすると、令和8年には完全移行ということになるので、湯沢スタイルとして、子どもたちのことを考えると、早めに方向性を出してもらえればと思う。

【会長から】

- ・ そのようなことも含めて、本日の協議の際に行われる「湯沢スタイル」づくりに反映してもらえればと思う。

3 報 告～NPO法人希楽々（新潟県村上市）視察について

- ・ スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動アドバイザー」である、渡邊優子理事長から説明を受けた。
- ・ 平成24年に、「活動したい生徒、新設懇願の保護者、新設できない学校」の意を受けて、「新しいカタチの部活動」として歩みを始める。
- ・ 学校部活動と地域の活動を合わせた「融合型部活動」とした。これは、学校が関与する地域の活動である。
- ・ 運営方針として重点としていること。①運営主体に公益性があり、ガバナンスが確立していること。②公認資格取得の高いハードルを設定するなど指導者の質を確保すること。③スポーツ少年団と連携するなどして指導者の量を確保すること。
- ・ 今年度、女子バスケットボール、ソフトテニス、軟式野球は中体連大会に参加した。



- ・練習に参加する際には、チケットを作成し使用させた。例えば、バスケットは1回の練習につき500円を徴収し、最大限3,000円分まで（7回以降は無料）。継続性を図るためにも受益者に負担してもらっている。
- ・今現在は「ピンチ」、しかしこれを「チャンス到来」とする。
- ・今実施しないと、3年後の子どもたちが困ることになる。
- ・保護者にいかに納得してもらうかが大事。「今できることを精一杯実施していること」を保護者や地域に伝えることが必要。
- ・どの種目が地域移行を必要としているか。移行できるところから取り組む。不公平が生じるのは仕方がないこと。

4 協 議

(1) グループ協議

「生徒を一人も残さず大会・コンクールに出場させるための環境を整えよう！！」

- 【ヒト】・指導者の確保をどうする？
 - ・生徒にとって有益な人材を確保するにはどうする？
- 【カネ】・指導者への謝金は？
 - ・活動維持費をどうする？
- 【モノ】・練習会場は？
 - ・練習会場までの移動手段は？
- 【その他の問題は何か。また、それをどうする？】

(2) 各グループで協議されたことを発表する

運動部活動専門部A

- ・競技ごとのワークショップを行ったり個別にアンケートを取ったりしながら意識を高めたり、情報を集めたりすることが必要ではないか。
- ・中学校の部活動は専門的になってくるので、湯沢市としての指導者の位置づけや基準が必要になってくるのではないか。
- ・これからの新しい指導者の在り方を理解できる人材の確保に努める。
- ・謝金は、積算根拠を明確にすること、種目ごとに違ってくるのではないか。
- ・現在、夜間の施設開放している体育館と校舎内の音楽室とでは管理の仕方が違ってくるので、管理の問題を解決しなければならない。
- ・保護者としては、スクールバスの利用を希望していると思う。
- ・地域移行にともなって、「生徒の思い、どう思っているのか」など、聞き取ることも必要でないか。種目や活動形態について選択肢があればいい。



運動部活動専門部B

- ・運動部活動専門部Aと重複する部分は割愛する。
- ・生徒がイメージできるデザインをつくること。
- ・大会参加について、中体連の出場資格が変更されると思われる。
- ・教員も地域の一員として関わるなど、人間性豊かな指導者を必要とする。
- ・問題が生じた際の相談窓口（生徒や保護者）が行政にあればいい。
- ・受益者負担も仕方ないと思われるが、市内企業にスポンサーとして協力してもらう方法もあるのではないかと。（クラウドファンディングも有るのではないかと）
- ・スクールバスの利用はお願いしたい。
- ・ある競技について、高みを目指すクラブとそうでないクラブの2種類の選択肢を設けることができればいい。
- ・子どもたちが選択できる、土（日）曜日の活動であればいいと思う。

文化部活動専門部

- ・吹奏楽、合唱などを地域移行するに際し、大切なことは専門のコーディネーターを配置することである。
- ・そのコーディネーターの下で、指導者、謝金、会場、練習時間などの調整や管理を行うことがスムーズな運営につながる。
- ・湯沢市内だけではなく、東成瀬など市を越えて、ともに活動できる環境をつくっていく必要がある。



第2回湯沢市部活動協議会
作成シート

〔運動部活動専門部会A・B〕
〔文化部活動専門部会〕

『生徒一人残さず大会・コンクールに出場させるための環境を整えよう!!』

【ヒト】指導者の確保をどうする？

・混合型はスポーツクラブ、
・カークラブ(スタート)等、JSAの公認にて活動できる。
・教員も地域カークラブの指導者として
・指導者の確保で招集がほしい。

【ヒト】生徒にとって有益な人材を確保するにはどうする？

・教員的配置でできる、人間性を大切に！
・相談窓口(生徒・保護者)があればいい。⇒行政に
・令和8年度のスタート明細等を、可能性を確保できればいい
⇒カバナビコードを作成し、説明公開する。

【カネ】指導者への謝金はどうする？

・市(行政)からの補助が必要である。
・受益者負担も必要である。
・市内企業は負担、スポンサーとして (人カネ)
(否、クラウドファンディングも有りか。)

〔運動部活動専門部会A・B〕
〔文化部活動専門部会〕

【カネ】活動維持費をどうする？

・練習会場の確保、
・スポンサーの確保、
・スタート会場。

【モノ】練習会場はどうする？

・市内各種施設、
・施設利用の問題。

【モノ】練習会場までの移動手段はどうする？

・SBO利用の問題(行政サポート) 練習会場の
・若手には埋まる 決定

【その他の問題は何か？また、それをどうする？】

・子供たちの思い、アンケートも必要か？
・和知道長館への利用はいい。(2A)
・中体連、スタート会場、
・銀行 謝金も有りか。